



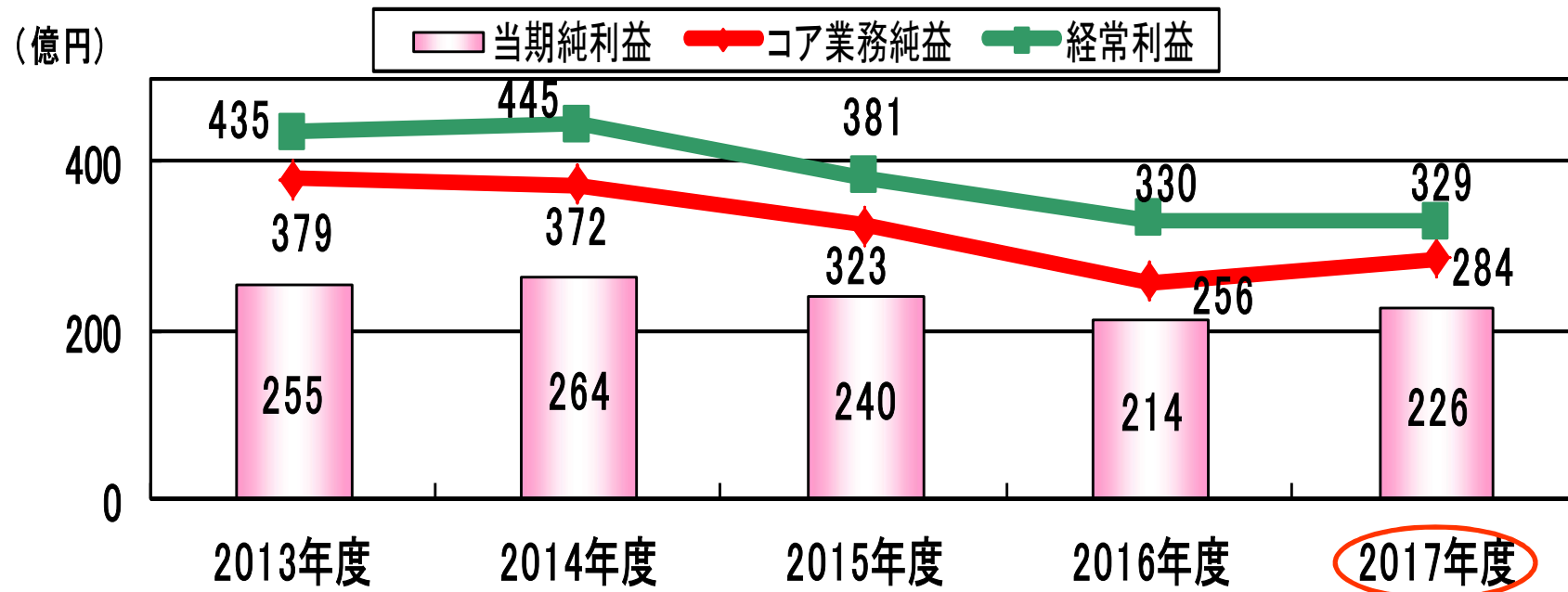
伊予銀行

# 2017年度決算の状況

# 損益の状況

- コア業務純益、当期純利益は前年度比で増益となりました。
- 当期純利益は5年連続で200億円台の高水準を確保しております。

＜コア業務純益・経常利益・当期純利益の推移＞



## 「コア業務純益」とは？

一般企業の『営業利益』に相当する指標であり、銀行の基礎的な収益力を示します。

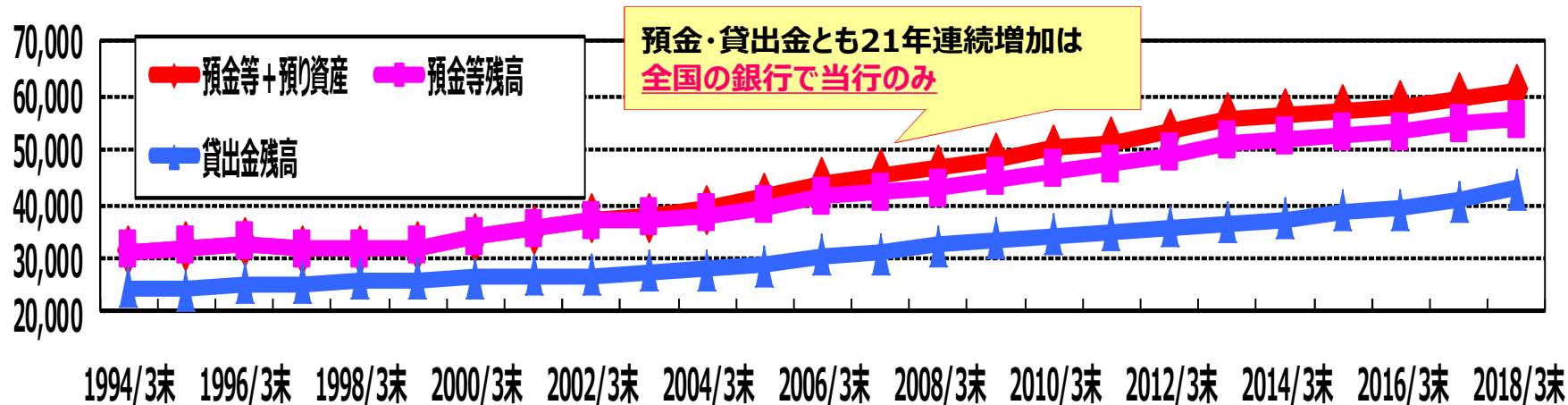
# 預金等・貸出金・預り資産残高の状況

● 当行では預金・貸出金ともに**21年連続で残高が増加しております。**

	2016/3末	2017/3末	2018/3末	前年比
<b>預金等</b>	<b>53,431</b>	<b>54,570</b>	<b>55,460</b>	<b>+890</b>
個人預金残高	33,483	33,546	33,921	+375
<b>グループ預り資産残高</b>	<b>4,649</b>	<b>4,958</b>	<b>5,444</b>	<b>+486</b>
当行本体残高	3,334	3,320	3,430	+110
四国アライアンス証券残高	1,315	1,637	2,014	+377
<b>預金等+グループ預り資産残高</b>	<b>58,080</b>	<b>59,527</b>	<b>60,904</b>	<b>+1,377</b>
<b>貸出金</b>	<b>39,111</b>	<b>40,433</b>	<b>42,926</b>	<b>+2,493</b>
個人融資残高	9,603	9,949	10,240	+291

(単位：億円)

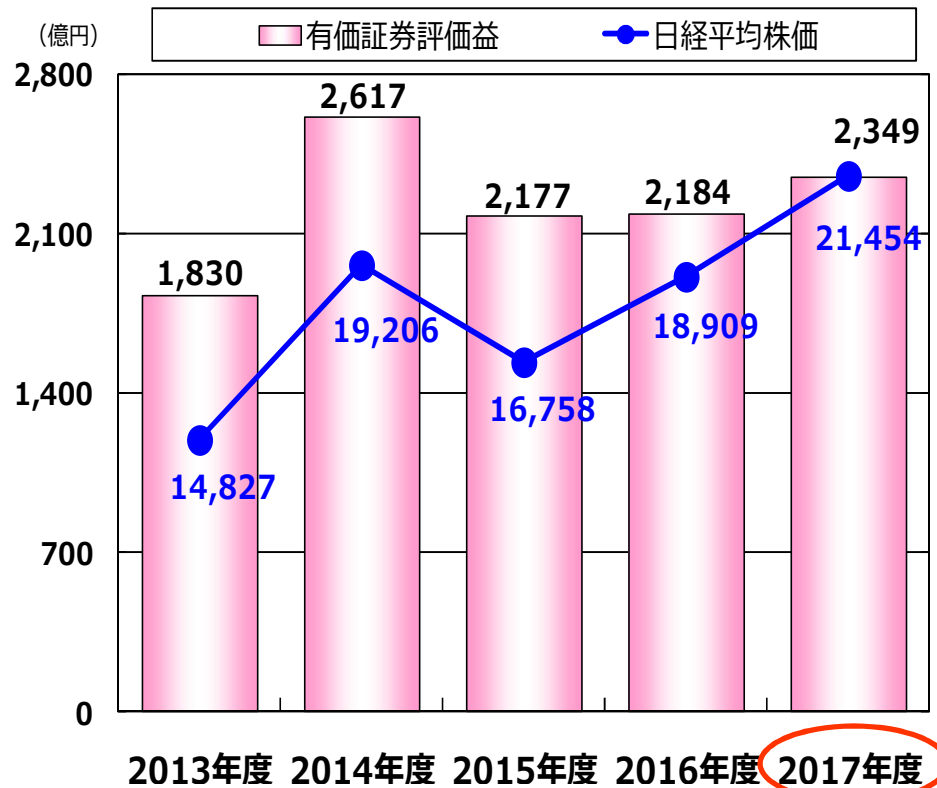
(億円)



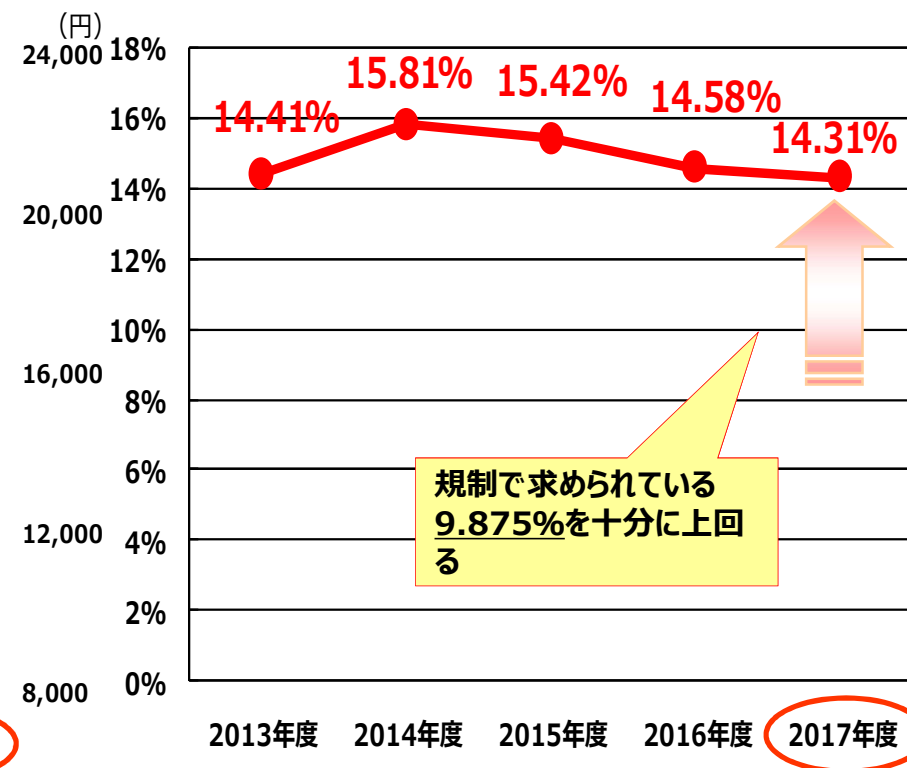
# 有価証券評価益と自己資本比率の状況

- 「有価証券評価益」は**2,349億円**と**地銀トップクラス**を維持しております。
- 「連結総自己資本比率」も **14.31%**と**高水準**で、健全性は十分です。

＜有価証券評価益（単体）の推移＞



＜連結総自己資本比率の推移＞



# 2018年度の損益予想

- 2018年度の「コア業務純益」は**245億円**、「当期純利益」は**180億円**を見込んでおります。

## <2018年度業績予想>

(単位：億円)

	2017年度実績		2018年度予想			
	中間期実績		中間期予想	前年同期比		前年度比
コア業務粗利益	389	775	377	△ 12	<b>751</b>	△ 25
うち資金利益	354	697	336	△ 18	<b>670</b>	△ 28
うち役務等利益	32	66	35	+ 4	<b>71</b>	+ 5
経費 (△)	244	491	252	+ 8	<b>506</b>	+ 15
コア業務純益	145	284	125	△ 20	<b>245</b>	△ 40
信用コスト (△)	6	35	18	+ 12	<b>40</b>	+ 5
経常利益	189	329	140	△ 49	<b>270</b>	△ 59
当期(中間)純利益	131	226	95	△ 36	<b>180</b>	△ 47